

「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて ～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

木津北地区内の散策コースが完成しました。

10月7日、木津北地区内の通路整備作業を活動団体と共におこないました。

現在、地区内の荒廃している里道等を復旧することにより、誰でも気軽に散策できるようなコース整備を昨年度からおこなっています。

この日は、北地区で里地里山の保全活動をしている6団体から24人が参加し、午前中は、夏の間に伸びた整備済みルートの除草作業や通路の凹み部分へ採石を入れる作業、また、活動拠点である旧鹿背山分校の花壇整備などをおこない、午後からは、新たに未整備部分であるCルートの整備に着手しました。



Cルートの終点側は、活動団体のベースキャンプがあります。以前から整備されていたこともあり、Cルートの終点から中間地点までは、容易に通行可能なことから、中間地点まで接続する作業をおこなったところ、皆さんの頑張りのお陰で作業が進み、繋げることができました。

これにより全長約2キロの散策コースが完成しました。今後は、道標の標識の設置や新たなルートの開拓をおこなっていく予定です。

是非、皆さん木津北地区へ散策にお越しください。



草刈機による除草



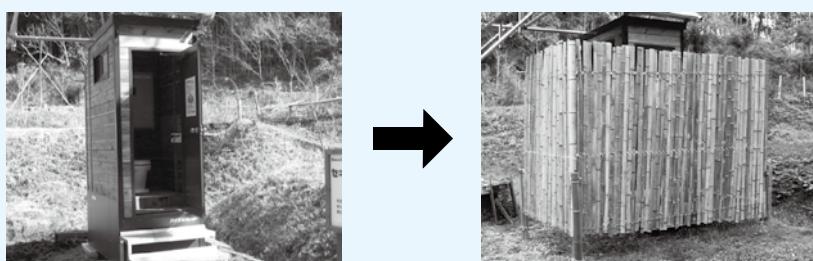
チェーンソーによる竹の伐採

バイオトイレに自作の竹製目隠しフェンスを設置しました。

今年2月に北谷活動地(鹿背山中切)に設置したバイオトイレの出入りが丸見えであったことから、活動団体に竹を切ってもらい、竹を使ったフェンスを取り付けました。

このトイレは、便槽内にオガクズを入れ、微生物が屎尿を二酸化炭素と水に分解し、汚物をためないので悪臭が出ません。電源はソーラー発電を利用し、流すための水も不要なことから山岳地や災害時によく活用されている環境型のトイレです。

木津北地区には、北谷活動地と南谷活動地(鹿背山南谷)の2か所に、このようなバイオトイレを設置していますので、皆さん安心して散策にお越しください。



木津北地区保全推進室（都市計画課内）☎ 75-1222